

いざというときのために

災害時の被害を最小限におさえるためには、日ごろの準備が大切です。非常持出品や避難時の心得、いざというときに役立つ市内全地区のハザードマップを一挙掲載しています。

ご家族皆さんで、しっかりと確認しましょう。



1 防災基礎知識編

非常持出品・備蓄品を用意しよう!

災害時に避難避難するときには、身の回り品や軽食・飲み物など必要なものは各自で持参してください。

自分や家族にとって何が必要かを検討し、乳児(オムツや粉ミルク)や高齢者(常備薬)など、各家庭の事情に応じたものを用意しておき、万が一の際には持参することが大切です。

非常持出品

- 飲料水(500mlペットボトル1人2本)
- 非常食(乾パンなど加熱不要なもの)
- 懐中電灯 携帯ラジオ
- 携帯電話・スマートフォンなど、充電器
- 医薬品、保険証、おくすり手帳、マイナンバーカード
- 現金(小銭) 家の予備の鍵
- 衣類 雨具
- 乾電池



備蓄品

- 飲料水(1人3ℓ×一週間分)
- 非常食 カセットコンロ
- ウエットティッシュ タオル
- パールなどの工具
- 毛布、防寒着、カイロ
- 紙食器、割りばし
- ポータブルストーブ



情報を的確に入手するために

災害時には自分たちで積極的に情報を入手し、いち早く適切な行動を取ることで被害を最小限に抑えられます。

テレビやラジオ、インターネット、各種メール配信サービスや防災アプリなど、さまざまな手段を活用し、1分1秒でも早く行動することが、あなた自身や家族、そして地域の安全を守ります。

津波警報サイレンの放送内容や緊急情報などは

災害情報ダイヤル ☎ 0143-50-5104
FMびゅ〜 周波数→84.2MHz
NHKラジオ第1 周波数→945kHz



防災情報のメール・インターネットなどは



ぼうさい西いぶり情報メール
✉ bousai@ml.nishi-iburi.jp

室蘭市ホームページ

HP <http://www.city.muroran.lg.jp/>



北海道防災情報

HP <https://www.bousai-hokkaido.jp/>



被害の減少に重要な 自助・共助



家庭での予防対策

- ④ 家の周辺の**危険な場所、避難場所**(38～67ページ)を知る。
- ④ 地震に備えて、**家具の固定と建物の耐震化**を行う。
- ④ 普段からテレビ・ラジオなどで気象情報を入手するなどして、**防災に関心**を持つ。
- ④ 積極的に**防災訓練に参加**するなどし、災害時の行動力を身に付ける。



地域での予防対策

- ④ 皆さんが平常時から防災意識を共有し、いざというときに災害対策に参加できる**自主防災組織**を作る。
- ④ 地域の高齢者への声掛けなど、**避難行動要支援者への支援**の体制を作る。
- ④ 災害に備えて、**防災訓練や学習会**などを行う。



災害証明

台風や暴風、豪雨などで被害に遭い、保険金の請求や税の申告などで**災害証明の必要な場合**は、防災対策課で発行しています。

申請に必要な物
印鑑、被害の状況が
確認できる写真



災害時の連絡



NTT災害用伝言ダイヤル「171」

地震・噴火などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に、NTTが提供する声の伝言板です(平常時には使用できません)。

「171」をダイヤルし、**ガイダンス(説明)に従って、伝言の録音・再生**を行ってください。携帯電話からも利用できます。



災害用伝言板



震度6弱以上の地震など、大規模な災害が発生した場合に、携帯電話・PHSからインターネットを通じて自分自身の安否を身近な人に伝える災害用の伝言板サービスです。利用方法は機種などにより異なりますので、契約している**携帯電話会社のホームページ**などで確認してください。

災害用伝言板体験デー もしものために試してみよう

体験利用日 毎月1日
防災週間(8月30日～9月5日)
防災とボランティア週間(1月15日～21日)

